

# 市民の皆様から頂いた意見、提案等についての回答（個別検討会議 商工観光分野）

- ※ 皆様から頂きました、意見等に対する今後の対応について、回答しています。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「総合戦略(27年度中策定)・「第6次総合計画(28年度中策定予定)」の欄に○印があるものについては、反映する予定です。
- ※ 計画の位置づけ項目の、「公助・共助・自助」については、施策、事業を実行する場合に、誰が主体的に取り組むか示したものです。
- ※ 皆様から頂いた、ご意見について、緊急性、効率性、有効性等の観点で整理しました。ご意見等を否定するものではありませんので、ご理解よろしくお

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 商工観光分野	様々手法で奥日田の魅力为全国に情報発信し、入込み客の増加につなげる。①三津江アウトドアカルテット 前津江でキャンプ、中津江でクライミング、上津江で釣り、日田をアウトドア天国としてアピール。MAP作成と相互特典、定期イベントを企画。メーカー、ブランド巻き込み型（対馬がやっってる様なイベント） ②local viewing 地元民には見慣れた景色は、実は絶景だった！Life market がプロデュースするなんでもないものにスポットをあてた好企画を日田で実現！ ③950モール イオンモールでクーラーあびるくらいなら、津江で天然のクーラーをあびてショッピング。標高950mに現れた他にはない！ ④950フェス スノーピーク奥日田での音楽イベント。ただただ音楽のイベントをするだけでなく、日田、津江を知る仕掛けを。若者への認知と、知ることをもう一度考える。そんなイベントに。 ⑤奥日田の観光情報の発信 登山や釣り、川遊びなどのアウトドア情報の発信。「奥日田で子育て」写真コンテストの開催	奥日田の豊かな自然を「アウトドア」というキーワードに、さまざまな事業を展開し全国に情報発信を行います。推進体制として「（仮称）奥日田デザイン会議」を設置する予定です。	<共助> 新規事業	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	本当の知りたいのは海外のニュースでも国のニュースでも、アイドルの破局報道でも無い！！隣の醤油が切れたとか、どこそこの娘が帰省したとか、そんな村本当のニュースを作る新聞社設立！雇用の創出と、高齢化が進む町を密なコミュニケーションで元気づける活性化施策。	地域コミュニティの充実につながる情報の共有については、自治会の会報等市民や住民の主体的な取り組みの中で推進していただきたいと考えます。市としては、地域の活性化を図る住民自治の推進に努めていきます。	<共助> 実施しない	—	—	地域振興課
個別検討会議 商工観光分野	保育士、看護師等の有資格者の賃金格差是正のための賃金助成や処遇改善を行う。	子ども・子育て支援新制度では、教育・保育の提供に携わる人材の確保及び資質の向上を図り、質の高い教育・保育を安定的に供給していくために、施設型給付等に係る処遇改善等加算の申請が可能であることから、引き続き施設関係者への取組みを進めていきます。	<公助> 取り組んでいる	○	—	こども未来室
個別検討会議 商工観光分野	日田のデザイナーが奥日田のコテージをプロデュース！（複数デザイナー）若きデザイナーに活躍の場を与えてキャンプ場初の試みとして話題をかつさります。	（仮称）奥日田デザイン会議の中で、活用策を検討します。	<共助> 検討する	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	日田で食事をした方が、気に入った食材をネット通販で購入できる仕組みを作る。旅館等で食事をしながら、食材を検索して手軽に購入でき、商品を気に入れば定期購入が見込める。ベンチャー農家等の誘致も可能、日田でのオリジナル野菜開発等にも一役買うことである。	旅館等の民間事業者が主体となることができる事業であり、事業化はしない。個別の旅館で取り組みを始める予定です。ネット販売については、日田珍珠地域産業振興センターの運営するネットショッピング「ひたマルシェ」の充実に取り組めます。	<自助> 働きかけを行う	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	豆田地区においては伝統的建造物群保存地区に指定されており建築様式等統一化は図っているが、外国人観光客を含めた看板等の設置はグローバル化されていない。	誘導サインについては、インバウンド推進事業として事業化し、統一制も考えていきます。	<公助> 新規事業	—	—	観光課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 商工観光分野	中心市街地の空き店舗並びに既存店舗の事業承継等の現状調査を行うとともに、空き店舗情報の一元化を図り情報発信し、出店しやすい環境整備を図る。	空き店舗情報等の現状把握を行うことで、新たな施策の展開と出店希望者への一元的な情報発信が可能であり事業化します。 事業主体となる商工会議所等が実態調査の実施及び空き店舗情報の発信を行い、市は、調査費等の助成を行います。	<共助> 新規事業	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	地場企業や商工団体等が行う経営基盤の強化及び事業拡大、新事業展開、販路開拓等のための研修会等の開催を支援し、商工業の振興を図る。他地区の成功者の体験談等々の講演定期セミナーの開催し、通年に渡りの勉強会を実施する。講演者は官公庁向けのコンサルタントではなく、必ず実績重視の方を選考する。	経営者向けへのセミナーは、商工会議所が主体となって開催しており、若手にターゲットを絞るなど、受講者のニーズにあった講師の人選を行っていただく。また、スキルアップのためのセミナーについては、新たに設置を考えている総合相談窓口の事業の中で考えていきます。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	地場の企業の情報を読ませる記事として、紙媒体やネットで紹介することで企業への興味を抱かせ就職に結びつける。	Web上に市内の企業情報をまとめて紹介するページが必要であり事業化を検討します。	<公助> 検討する	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	地域資源である森や水などを研究する大学や高等専門学校の誘致。	関係機関と連携しながら検討します。しかし、市単独では難しいので、県と十分な連携のもと、可能性を探ります。	<公助> 検討する	○	—	林業振興課 企画課
個別検討会議 商工観光分野	多言語化表示の誘導サインを整備することで、外国人受け入れ態勢の強化を図る。	インバウンド推進事業として事業化します。	<公助> 新規事業	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	全日田地域における、産業体験・交流メニュー等の「旅行商品」を拡充するため、地域資源の調査及び実施者の養成を行う。歴史、産業、交流メニューを旅行商品として造成し、旅行会社に販売することで日田の魅力発信し観光入込み客の増加を図る。	既存の観光誘客宣伝事業に加え、奥日田、大山、天瀬地域の観光推進事業で検討しながら対応します。	<共助> 検討する	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	新たな商品開発、技術開発等により経営の向上及び従業員の処遇改善にチャレンジする中小企業者を支援する。	企業の経営の向上等を支援するため、国の補助制度の利用を勧めるとともに、新商品・技術開発への補助制度の創設を検討します。	<共助> 検討する	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	新たな温泉源も含め、日田市民にも楽しめるよう、観光客も日帰り入浴が楽しめるよう共同浴場を建設。また、デザイナーズとして利用することで新たな観光目玉にもなる。三隈川のライトアップ。三隈川沿いの街路灯をLED化することで、観光客、地元市民など安心して散策できるようにするとともに管理費の軽減も図る。銭湯橋にスクリーンをかけ、屋形船での映画鑑賞を開催する。屋形船で船カフェや水上マーケットを開催する。昼間の屋形船の活用と手漕ぎボート復活。川床の設置。	河川を活用する事業については、ひた水辺空間利活用推進協議会で協議を行い、必要があれば法律に基づいて実験事業等に取り組みます。 新たな温泉源や共同浴場の建設については、事業主体が明確になれば支援を検討します。	<共助> 検討する	—	○	観光課
個別検討会議 商工観光分野	商工団体及び金融機関、ハローワーク、学校との情報共有を行いながら、専門家を配置し、経営革新や新規創業支援、就職相談などに対応できる総合窓口を設ける。	創業や経営革新などの総合相談窓口の設置や、効果的な雇用情報の発信の充実が必要であり事業化します。	<共助> 新規事業	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	宿泊施設、観光施設、商店の接客業対象の学習会の実施。外国人観光客を案内する「指さしツール」の作成・外国人観光客対象の散策エリアの散策マップの造成。 【英語・韓国語・中国繁体字・中国簡体字・タイ語】新たな駐車場の確保と交通規制のための地元住民との協議	既存の観光客誘客宣伝事業で対応、またはインバウンド推進事業として事業化します。	<共助> 検討する	○	—	観光課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 商工観光分野	実践英語セミナー、日田にはしっかりと英会話学校がないため。世界と戦える人たちは日田では現状生まれない。	民間の開催する英会話教室や、インターネットでの英語セミナーなどがあることから、行政が主体となった実施は難しいと考えます。	実施しない	—	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	市内建設産業の将来の担い手である若手技能者の人材確保・育成を図るため、研修期間中の支援を行う。	若手技能者の育成が求められており、市は日田共同高等職業訓練校の自主的な活動の推進及び事業後継者となる専従者の育成を支援していきます。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	市内求人企業を集めた合同の説明会を開催し、就職の機会を創出を図る。	定住促進のためには、市内での雇用の場を確保することが必要であり事業化します。ジョブカフェおおいだ日田サテライトが中心となって求職者のための企業説明会を開催します。また、説明会の参加者やUターンによる雇用を行う中小企業の支援制度を設けます。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	子育て世代の労働者の仕事と、子育ての両立を支援し働きやすい環境づくりの充実を図るため、国や県と連携した広報活動を行う。企業や団体等が行うセミナーや研修会等を支援する。	少子化の抑制のためには仕事と子育ての両立できる環境づくりが必要であり事業化します。商工団体や国、県と連携して啓発活動に取り組むとともに、育児休業制度を導入する企業を支援します。	<共助> 新規事業	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	国際交流の支援。アメリカ等金額の高いエリアではなく、東南アジアの英語圏でok	現在、立命館アジア太平洋大学との交流事業を行っていますが、この活動の拡充を図ります。	<公助> 既存事業見直し	—	○	企画課
個別検討会議 商工観光分野	県や本市縁故者などを通じた企業情報の収集強化を図るとともに、誘致企業の設備投資への助成や新規雇用への奨励を行うことにより、新たな企業誘致につなげる。	現行の立地企業に対する優遇制度の見直しを行うなど、他市町村より優位性をアピール出来る施策を施し、中小企業を中心に企業誘致を推進します。	<公助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	空家をタダで貸し出す。（一気に）その際、ネット環境を整備してノマドワーカーを誘致。家賃が無い代わりにノマドたちに与える共通プロジェクトが、津江の活性化プロジェクトとなる。	個人所有の空き家の無償提供は難しいと考えます。移住や本市での起業を促進するため、空き家の購入や改修、インターネットの引き込み等に対する助成制度を設けています。	<自助> 実施しない	—	—	地域振興課
個別検討会議 商工観光分野	観光客が無料で利用できるネット環境を構築することでSNSなどを通じて日田の魅力の情報発信につなげる。	公共施設でのw i -fiの整備はインバウンド推進事業として事業化します。民間施設でのWi-fiの整備は国・県などの補助事業を活用して民間事業者で整備をお願いします。	<共助> 取り組んでいる	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	学生を対象とした、現実的に社会に対応できる若者の創出。学校では教えない、夢持つ若者の支援。企業に必要とされる人材育成。また、面接等に強くなる為の授業。	地元企業への就職を促進するため事業化します。日田商工会議所に委託するジョブカフェの業務内容を見直し、高校の取り組みを支援します。	<共助> 既存事業見直し	○	—	商工労政課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 商工観光分野	外国語版のブログ・SNS・動画での情報発信者の養成を行うとともに情報発信を行い観光客の誘客を図る。大分県での重要ターゲットとなっている「タイ語」の日田市観光協会のホームページを造成する。大分県ロケツーリズム推進協議会と連携した海外メディアの誘致	インバウンド推進事業として事業化します。ロケツーリズムに関しては大分県ロケツーリズム推進協議会と連携して取り組みます。	<共助> 新規事業	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	海外に日田のアンテナショップを設ける。	国内の日田ブランド戦略として博多大丸にアンテナショップを設けたところであります。海外での取り組みについては、今後の課題と考えております。	<公助> 実施しない	—	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	奥日田の豊かな食材を使用し、若者をターゲットにしたレストランの開設を支援し、入込み客の増加を図る。おすそわけレストラン松原の形式の津江版。三津江全てで出来ると素晴らしい。コーヒースタンドでもOK。	椿ヶ鼻ハイランドパークはスノーピークを指定管理者にして以来、利用者が増加しており、レストランの開設も考えています。 （仮称）奥日田デザイン会議で、地域の食材を使ったレストラン運営などについても協議します。	<共助> 検討する	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	日帰り温泉客誘致のための「年間パスポート」発行。観光客、地元も楽しめる露天風呂の改修。外国人観光客を町歩きに誘い出す施策（色浴衣、下駄のサービス・足湯場所での飲食サービス等）	既存の観光誘客宣伝事業に加え、奥日田、大山、天瀬地域の観光推進事業で検討しながら対応します。	<共助> 検討する	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	特定創業支援事業終了の証明を受けたビジネススキルの高い事業者が創業する際に、設備費への助成などの支援を行う。特定創業支援事業終了の証明を受けた創業者に有利な融資制度を創設する。	市内中小企業の新陳代謝を図り、創業を促進するため事業化します。創業支援のための融資制度の拡充を図ります。	<共助> 既存事業見直し	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	賃金アップや処遇改善に係る融資制度の新設。	融資実行の際には、事業改善による処遇改善や賃金アップ等も含めた事業計画により審査しており、既存の運転資金で対応します。	<共助> 実施しない	—	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	中心商店街にある空き地を活用したし出店を支援し、賑わいの創出につなげる。	空き地解消に向けては、市の融資制度を活用して出店の支援を行います。また、空き店舗等の調査結果を基に各商店街の今後の方向性を探り、有効と思われる施策を展開していきます。	<公助> 検討する	—	○	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	地域住民の生活に必要なサービスを行う店舗の営業を継続するため、店舗リフォームを行う場合の支援を行う。	周辺地域の店舗維持を強く支援するため、店舗リフォームに対しての支援を検討します。	<公助> 検討する	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	全国規模で「日田市ふるさと市民」を募集・登録を行い、ふるさと市民に登録した方には、帰省や観光で日田市に来た際に、買い物や宿泊料等の割引を受けることができる特典を設け、市内事業者の売り上げを増やし市全体の経済規模を底上げする。	「日田市ふるさと市民」制度の構築を考えていく中で検討します。	<自助> 実施しない	—	—	商工労政課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	回 答	市の考え			
			計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 商工観光分野	スポーツイベントの開催を支援し、市外からの参加者（宿泊客）を促進し、交流人口の増加を図る。	スポーツイベントの積極的な支援により、市外から多くの参加者（宿泊客）を招き入れることは、スポーツツーリズムの振興による地域経済への波及効果や人的交流の拡大が期待されることから事業化します。そのため、「椿ヶ鼻ヒルクライムレース」「ひた42195チャレンジウォーク大会」「天領日田ひなまつり健康マラソン大会」をこの事業に組み込み、誘客・交流の促進を図ります。	<共助> 取り組んでいる	○	—	社会教育課
個別検討会議 商工観光分野	水郷日田ファンクラブを有効活用し、日田を一度認知した方にダイレクトに魅力ある情報を発信していく。	水郷日田ファンクラブを含めた「ふるさと市民」制度の構築を行うなど、情報発信をはじめとした、シティセールスの強化を図ります。	<公助> 既存事業見直し	○	—	企画課
個別検討会議 商工観光分野	商店街での創業や既存店舗の事業承継を支援し、商店街の活性化につなげる。	経営主の高齢化が進んでおり、円滑な事業継承を支援するため事業化を検討します。空き店舗とあわせた事業承継調査に取り組み、店舗リフォームへの支援や新規創業希望者とのマッチングなど、事業承継に伴う支援を検討します。	<公助> 検討する	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	史跡や文化財の保存、整備に関する取組の充実を図る。来訪者に対して、日田の文化財をより一層わかっていたくための案内・説明板の設置、多言語パンフレットの作成。	史跡の整備や文化財の保存整備については、今後も国・県等の指導や補助を受けながら充実を図ります。また、誘客の増加を図るため日田市全域の文化財についての案内・説明板の設置や情報発信を観光事業とあわせて行います。	<公助> 取り組んでいる	—	—	文化財保護課
個別検討会議 商工観光分野	史跡整備と史跡の公開、多言語化パンフレットの作成、子どもボランティアガイドの育成、ナビゲーションソフトの開発・設置、案内看板の設置、記念品の開発・販売	日本遺産認定を受けた「威宜園と構成文化財」を積極的に情報発信していくことで入場者増が期待できることから、事業化します。国の日本遺産魅力発信推進事業等を活用し進めます。	<公助> 新規事業	○	—	世界遺産推進室
個別検討会議 商工観光分野	市街地中心部のまとまった土地を確保し木材と鉄骨を組み合わせた大屋根を設け、人工芝の「日本一の大屋根の広場」をつくる。	市街地中心部には中央公園があり、また、空き地の活用については、商店街による支援の中で考えるため、事業化はしません。	<公助> 実施しない	—	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	散策コースとするための施設の環境整備の充実を図る。歴史的町並みの景観や個々の家の歴史等がわかるリーフレットの作成（多言語）、看板の設置を図る。	豆田地区内の道路等の整備については、今後も国・県等の指導や補助を受けながら充実を図ります。また、豆田地区内に、誘客の増加を図るため、説明板の設置、リーフレットの作成や情報発信を観光事業とあわせて行います。	<公助> 取り組んでいる	—	—	文化財保護課
個別検討会議 商工観光分野	文化財を保存（修繕等）する過程などを観光資源として活用し、参加型観光への支援。祭り関係団体との協議	祭りの開催期日や内容及び文化財の修理・修復現場公開等の情報発信を行うが、観光客の祭りへの参加については、地域の保存会や自治会、観光協会などが主体となった取組みが重要であることから、参加型観光への支援や関係団体と協議することは考えていません。	<公助> 実施しない	—	—	文化財保護課

意見集約の場	意見（取組内容や方法）	市の考え				
		回 答	計画への位置づけ			
			施策・事業化	総合戦略	第6次総合計画	主管課
個別検討会議 商工観光分野	コンベンションの助成制度の紹介だけでなく、施設情報や宿泊情報、観光情報などが一緒になったサイトを設ける。	既存の観光客誘客宣伝事業で対応します。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	コテージを一週間借り切ってお父さんが仕事に行きながら、毎日が家族サービス中という企画。津江から日田、日田から福岡、といった距離感を伝えて、移住の可能性もぼんやり考えさせてしまう企画。津江野菜の宅配があるとなお良し。	(仮称) 奥日田デザイン会議の中で、活用策を検討します。	<共助> 検討する	○	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	きのう様や猿田彦大神などを紹介し、隈町を恋愛の成就の町にする。	既存の観光客誘客宣伝事業で対応します。おもてなしなどのホスピタリティの充実は、共に喜びを共鳴することで実現されるものであり、地域の自治会や旅館組合、観光協会などが連携して自主的に取り組むことが必要です。	<共助> 検討する	—	○	観光課
個別検討会議 商工観光分野	観光親善大使の見直し。1週一回又は最低月一回の日田宣伝を行う事を義務化。	観光親善大使については、報酬等はないためこれまでどおり可能な範囲での日田の広報に取り組んで頂きます。	<公助> 実施しない	—	—	観光課
個別検討会議 商工観光分野	海外や首都圏等で開催される展示会への出展を支援し、新たな販路開拓につなげるとともに産地としての認知度を高める。	域外流入額を増やしいくため事業化します。各協会単位での事業を支援を行います。	<共助> 既存事業見直し	○	—	商工労政課
個別検討会議 商工観光分野	大原のしだれ桜、市内のソメイヨシノ、駅前の中野川沿いの八重桜など、桜で外国人を含む観光客を誘致する。	既存の観光誘客宣伝事業で対応します。	<共助> 取り組んでいる (既存事業見直し)	—	○	観光課
個別検討会議 商工観光分野	移住者だけを集めて村or町づくり。外部のみの目線でもう一度まちを見直して再生するプロジェクト。雇用、定住、マンネリ解消。	「集めて」よりも自発的に「集まって」話していただきたい。地域のまちづくり等の団体に、移住者も加えていただきたい。	<共助> 実施しない	—	—	地域振興課
個別検討会議 商工観光分野	JNTO、九州観光推進機構、ツーリズムおおいた等が開催する観光フェア（韓国・台湾・中国・タイ）へ参加し、参加し訪日外国人旅行者の誘致活動を行う。	既存の観光客誘客宣伝事業で対応し、また、インバウンド推進事業として事業化します。	<共助> 既存事業見直し	○	—	観光課